

安楽死処分方法の国際比較（げっ歯類）

方法	米国獣医師会 (2000)	欧州作業部会 (1996-97)	処分指針解説 (1995)
頭蓋打撲	C	C (4)	A
頸椎脱臼	C	C (4)	A
断首	C	C (2)	A
マイクロ液（専用）	A	C (3)	
バルビタール	A	A (5)	A
炭酸ガス	A	C (4)	A
ハロセン	A	A (5)	-
エーテル*	N (前処置に使用)	N (1)	N (C)
クロロフォルム	N	N (1)	N (C)

A : 容認 (欧州ではランク 5) C : 条件が満たされれば容認 (欧州ではランク 4 ~ 2)

N : 非容認 (欧州ではランク 1) - : 記述なし

* : エーテルは、米国では単独使用は不可。日本では人体に影響を与えるという理由から好ましくないとされている。

平成 18 年度実験動物技術指導員研修会
動物福祉委員長 鍵山直子先生 講演から